

---

# おれたちのせかいへ

志生諸智

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

おれたちのせかいへ

### 【Nコード】

N3520BA

### 【作者名】

志生諸智

### 【あらすじ】

数々の冒険を重ねてきたコーティ、ホービー、グレゴリ、ネットの4人。そんな日々がいつまでも続くと思っていた。そんなある日、コーティは誰も戻った者がいないという伝説のクエスト「皇神との邂逅」へ挑む事を告げる。

## 荒野にて

「どうしても行くのか？」

グレゴリがその隆々とした腕を曲げて顎鬚をさすりながら訊くと、彼女は強く頷いた。

「ずっと前から考えていたの。ずっと皆と旅をしていたかったけど、これは私の目標なのよ。皇神オジンに会えばこの世の真理が、これまでの理不尽な事の仕組が解る筈なの」

「だがなコーティ。皇神に会って戻って来た奴は居ないって話はお前だつて知ってるだろう。あのギルド関係者だとかいう男もそう言っていたじゃないか。他の同業連中だつて同じ事を言ってる」

夕闇を剥ぎ取る焚火をコーティの頬が照り返す。切り立った岩だらけの川原には野鳥の声さえ届かず、薪の爆ぜる音だけが響いていた。火の周りに突き立てた串肉から滴りる脂は四人の食欲を刺激したが、誰もそれに手を付ける事をしなかった。

「僕は世界の真理になんて興味無いけど……、止めるべきだだと思っよ。そんな危険な事の為にギルドポイントを使うなんて間違ってる。これまで苦労して魔獣を狩ってきたのは、更にその先の冒険へ向けての事じゃないか。少なくとも僕はそう思ってたよ。コーティは違うの？ 戻って来れないクエストなんて他に聞いた事ないよ」

四人の中で一等小柄な盗賊のネッドは大袈裟にジェスチャーし拗ねて見せた。今回の件 「皇神オジンとの邂逅」への挑戦 を最も反対し、最も残念がっているのが彼だ。

「まあ、ポイントを何に使うかは各々の自由だ。俺達がどうこう言う事じゃないし、言った所で聞くコーティじゃないだろう。仕方の無い事さ。……それより俺等とはともかくお前はどうするつもりなんだホービー」

コーティと最も付き合いの長い彼、ホービーは今回の件が問題になってから殆ど喋っていないかった。元々口が達者ではないホービーだったが、落胆ぶりはネット以上と言えた。ホービーは焦げていく肉を俯きがちに睨付けたまま、十分に間を含ませてからゆっくりと口を開いた。

「ずっと昔、僕は兄のお下がり靴を履いていたんだ。だけどその靴あまりに大きくて歩き辛い上に靴擦れも酷かった。けど母親は『あなたもすぐに大きくなるんだから我慢しなさい』と言い、それが当たり前的事だと思っていたから、その合わない靴を履き続けていたんだ。」

けど、その少し後。とても見た目の格好いい靴を見つけて、僕はお小遣いを貯めてその靴を買った。別にそれまでの靴が嫌だったとか さっきも言ったけど合わない靴を履くのはそのくらいの子供にとっては当たり前的事だと思っていたからね 履けないくらいポロポロになったとかいう訳じゃない。けど、新しい靴を履いてみて驚いた。とても歩きやすく足にピッタリとフィットしたんだ。それでようやく兄の足は人並み外れて特別大きかったんだという事に気付いて、僕はそれまでの靴を勿体無いけれど捨て、新しく買ったその靴だけを履くようになったんだ」

再び川原には薪の爆ぜる音だけが響き、三人は身じろぎもせず、かつては串肉だった炭の塊を眺めていた。ネットだけが不安そうに彼等を見回してどうして今そんな話をするのかと訊いたが誰も答え

なかつた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3520ba/>

---

おれたちのせかいへ

2012年1月9日02時49分発行